

盛夏の瀬戸内調査、3港を歩き倒す

夏 真っ盛りの八月初旬、4泊6日で3港回り、最終日に成果を発表するという強行日程のもと、瀬戸内調査は行われました。

M1 山田渚



初日はメンバー全員で香川県は栗島へ。島民300人弱。観光まちづくりもこれからという小さな島ですが、両側を浜辺に挟まれた天然の砂洲や、夜には淡い光を放つ海ほたるなど、自然が豊かに残った美しい場所でした。2日目は午後瀬戸大橋を渡って一路本州へ。3日目は岡上で尾道班と室津班に分かれ、それぞれ調査へ。観光まちづくりがかなり進み、多数の主体が活動しているためにヒアリングに奔走する尾道班とは対極的に、小さな港町で活動が集約している室津ではじっくりとお話を伺うことができ、少ない時間ながらも濃密な調査ができたと思います。



4日目は一同輦にて合流し、夕方に予定されていた、日大伊東研との合同調査発表会の準備に追われました。室津班に至ってはわずか2時間弱の猶予でしたが、各港の空間特性とまちづくり活動実態について報告しました。港湾施設を中心に調査してくれた日大チームの報告に新たな発見を得るとともに、自分達の調査をまとめるよい機会となりました。輦チームは今年中に再度瀬戸内の港調査を行う予定です。

東大まちづくりかふえ「千の風」、酷暑の「風の市」で初陣を飾る

M2 平林直（空間計画研）

八尾プロジェクトでは8月11日（土）、うだるような暑さの八尾上新町で開催された「風の市」にまちづくりかふえ「千の風」を初出店しました。

「風の市」は2003年に上新町商工振興協同組合が寂しくなってきた商店街に新たな賑わいを作りたいと始まったイベント。冬期間を除く毎月一回、開催されています。

今回の我々の出店の目的は昨年行った提案を実際に実験すること。今回はまちづくりに関する展示を路上や休憩施設に効果的に配置することで、まちなか観光を促す工夫を示した提案、「風の回廊」を実現しました。

しかし暑さの中では、来客者の関心は展示よりもかふえの冷たい飲み物に集中しました。自信のメニューはトロピカルフラペチーノなど4種類。沢山売れたのになぜかの赤字。次回は、念願の黒字を目指して10月6日（土）、坂の町アートにあわせて出店します。



八尾Tシャツ（絶賛販売中）で着飾り店を守る男たち。この日女の店員は一人もいなかった。

風景づくり夏の学校2007

M1 大道亮



8月3-5日、風景づくり夏の学校2007が四国は今治市で開催された。しまなみ海道の四国側で「風景を守り、際だたせる」にはどうしたらよいか、という大きな問いに、北は北海道から南は九州まで、9大学33名の学生が集結、知恵を絞った。都市デザイン研究室からは西村先生が講師として参加したのをはじめ、パネリスト兼指導員として野原助教、参加者としてM1大道が今治入りした。

夏の学校は大学混成の班対抗形式で進められ、どの班も寝る間を惜しんで熱い議論を交わした。議論の合間には造船所を海から眺めたり、しまなみ海道を歩いて渡ったりするなど、今治ならではの体験を大いに満喫した。



優勝こそ逃したものの、湯船の中でも素っ裸で議論するほどの濃い時間を経て、日本各地の学生との親睦や都市への思いを深めた3日間であった。

M1 インターン体験記 vol.1

M1 鈴木惇也

M1の就職活動はもう始まっている。学生として何を考え、何をしてきたのかを限られた時間の中で分りやすく論理的にプレゼンしなくてはならない。東大生の為のインターンシップ紹介セミナーから始まり、リクナビにも登録し、野村不動産やみずほ証券のインターンシップに参加した。これからまちづくりに関わる道は幾通りもあるが、みずほ証券では金融の面からのまちづくりへの参加を学ぶべく大手町へと通っている。不動産ひとつをとってみても私たちのよく言う「まちづくりは一人ではできない」ことを強く実感する。損益計算書の見かたから証券化の手法まで幅広く教えて頂いているが、実に奥が深い。まちにカネという血液を循環させる。先入観と思い込みを捨て、視野を広くもって進路を決めたいと感じた。

編集後記

この夏はとにかく動きまわった。北は喜多方から南は阿蘇まで。広いようなせまいような？自然のいい景色に癒されたり、小東京のような地方都市に旅行気分が半減したり。いつも「時間の使い方がへただなあ」と自負している私ですが、遊びまくったこの1ヶ月に関しては後悔はないです。あとで怒られるかな。

留学生お宅訪問 第4回 M1 ナッタポン (タイ)

interviewed by yahara, hiraoka, kakibaya

タイから日本に来て10年、本駒込に住むM1の人気者、ナッタポン (通称ナッチャン) 家へ訪問してきました。

Q好きな場所
A渋谷。日本語を勉強していたときに近くに住んでいたのが親しみがある。
Qここが変だよ日本の街
Aゴミ箱が少ない(皆がゴミを持って帰るのがすごい)。
Q日本のいいところ
A日本食。特に好物なのはお茶漬け、浅漬け、そば(冷たい麺をたべる発想が驚き)
Q研究室へのメッセージ
Aナッタポンにやさしく!



さすがに部屋探しの目も鍛えられてるだけあって部屋も間取りが良く快適。さらに、タイ料理のバジル炒め、トムヤムクンスープも頂き、あたたかいおもてなしを受けた訪問でした。ナッチャン、ありがとう!

高瀬川夏祭り

text_hiraoka

8月19日、博士課程馬場さんにさそわれて、京都市の元立誠小学校で行われた夏祭りに行ってきました。

昼間は高瀬川で船を運行する、摂南大学や立命館大学の学生さんたちのお手伝いをしました。高瀬川の一部をせきとめて、そこに船を浮かべます。せっかくなので実際に乗ってきました。短い区間でしたが、普段とは違う高さから見る高瀬川の景色は新鮮でした。

夕方からは校庭に屋台が並びました。ここではビール販売をお手伝い。当日の京都は天気もよく、最高気温が36度。暑さも手伝って、どんどん売れました。

暗くなると高瀬川で灯籠流しがはじまりました。夜の高瀬川に浮かぶ灯籠はとても幻想的でした。



そして祭の最後は盆踊り。夕立で少し中断したもののたくさんの方が輪に加わり、最後のマイマイムでは、大人も子供も学生もいりまじって、みんなで盛り上がりました。真夏の京都を満喫した一日でした。

text_kakibaya